

健康と光線

血が巡るから生きている

血液循環とは文字通り血の巡りのことです。血の巡りが良いと言つと、頭脳の働きが良いという意味で使われています。頭脳は血の巡りの良し悪しで働きが違ふと考えたためと思えますが、血の巡りは生体の全ての生命活動に関わっていることは自明の理です。

血の巡りに関係する循環系は、血液を送り出すポンプの心臓、血液を身体の隅々まで運ぶ通路の動静脈、細胞や組織に血液の中の酸素や栄養やホルモンや免疫に関わる成分を与え、代謝で生じた産物を受け取る末梢血管網から成り立っていますので、血の巡りは心臓や血管系の状態や身体の病態などさまざまな条件で変化します。

血の巡りは加齢変化でも著しく低下します。30代の循環機能

の平均を100%とすると80代では50%に半減すると言われています。病気の場合、身体は病変部に集中的に血液成分を動員して治療力を高めようとしますが、血の巡りが悪いと治療力は低下し、途絶える

血液循環は生命活動の源

— サナモアが循環動態に及ぼす効果 —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮

光明

血の巡りが加齢により悪くなるのは止むを得ませんが、高齢者ほど個体間のばらつきが大きく、生活習慣の良し悪しに関わってきます。

光線は血の巡りを良くする

光線療法で基本照射（全身照射）を勧める一つの理由は、循環を促すためです。即ち皮膚で

は多くの光産物（生理活性物質）が生成されますが、ヒスタミ

ン様物質は末梢血管網を拡張し、プラスミンは血液の粘度を下げてさらさらと流れるようにします。またビタミンDはカルシウムの細胞内濃度を低く保ち、血管壁の筋肉をゆるめて心臓に栄

コレステロール値を下げますので、動脈硬化の進行を予防し、加齢に伴う循環機能の低下を抑制します。これらの光線の作用は成人病（生活習慣病）の治療、合併症の予防に有効です。例えば糖尿病の主要な合併症は循環障害です。これには失明することもある網膜症や人工透析を受ける可能性のある腎症のように細小血管の障害の場合と、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、下肢の壊疽のように比較的太い血管の動脈硬化が原因になる場合があります。光線療法を日々の生活習慣にすれば、糖尿病の合併症を予防する効果があります。

血の巡りが良くなると痛みが消える

痛みを訴える患者に光線療法を行う際に全身照射に併せて患部照射を重視します。それは痛み患部には損傷された組織の再生に関わる血液成分を血管外に流出（滲出）させるための循環障害があり、光線の深達性の温

熱作用で患部の局所体温が上昇すると体温を一定に保つ機序が働いて患部の循環血流量が増し、発痛物質や代謝産物の排泄を促し、むくみを軽減し、筋緊張を和らげ、即効性の鎮痛効果を認めるからです。なお光線を患部に照射すると一過性に痛みが増すことがあります。これは循環障害が改善し始めた時に出る症状で、光線を続けて照射し本格的に血の巡りが改善しその状態が持続すれば、痛みは確実に消えます。

加えて光線療法を繰り返す行うことで患部の血液循環は促進され、損傷の修復、再生を促します。治るまでの期間を短縮できるのです。なお光線で作られるプロスタグランジンには胃粘膜の保護作用があり、鎮痛剤の副作用の胃腸障害を防ぐ効果もあります。

夏季臨時休業のお知らせ

八月十三日(月)から十五日(水)の三日間、臨時休業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

一病息災

一病息災

変形性膝関節症

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

変形性膝関節症は、関節を構成する組織の退行変性と増殖性変化に基づく病気で、内側の軟骨変性が進行すると内側変形が、外側の軟骨変性により外反変形を生じます。頻度は、内側型が多く、肥満傾向の中年女性に好発し、米国健康栄養調査報告によると、BMI(ボディ・マス・インデックス・肥満を判定するための指数・体重(kg)÷身長(m)÷

身長(m)が、30〜35の肥満女性は、肥満のない25以下の女性より、約4倍の高い危険率で変形性膝関節症が発生するとされており、肥満による膝への負荷が重要視されています。症状は、初期には、歩き始めや正座時、あるいは、階段を降りるときの膝関節痛であることが多く、進行すると、関節全体が腫脹し、関節水腫を伴い、関節の屈曲(こわ)縮が明らかとなり、関節周囲筋の筋力低下を生じます。この病

病気と光線療法

変形性膝関節症の患者の多く

気は、遺伝的素因や肥満などの体質といった全身的要素に、関節局所の解剖学的特徴が関与して発症する一次性のものと、外傷や炎症性疾患など、明らかな原因を背景として発症する二次性のものに分類されますが、本症例のように原因がはっきりしない一次性の方が多くみられます。

症例：71歳、女性

主訴：右膝関節の疼痛と軽度腫脹。

起始・経過：数年前から歩き始めや正座時などに、右膝関節痛を自覚。痛みは徐々に増強し腫れも認めたため、整形外科を受診し処置を受け、リハビリを施行したが思うように改善しないため来院した。

身体所見：身長150 cm、体重65kg、BMI 29

治療：①左側臥位にて30分

膝関節を2灯で上下からはさむように照射し、膝裏、足裏、腹部、背部も照射した。

②座位にて15分

右膝関節を、左右から2灯で照射し、左膝関節も側面から膝裏にかけて照射した。ABカーボンで開始し、膝に対してはBDカーボンに変更した。

経過：週に2回の治療で開始したところ、4回終了後に駅の階段の昇降が楽になり、改善を自覚。8回終了後には、体操教室でジャンプがスムーズにできるようになった。現在20回終了したが、膝の痛みは改善し、良好に経過している。

は、膝が痛いために、外出もできず運動不足となりがちで、筋力低下や体重増加を招き、膝への負担が一層増すため、膝関節痛がさらに増大するという悪循環に陥っています。そこで、サナモア光線療法によって、この悪循環を断ち切ることが治療のスタートとなります。病気の程度により若干異なりますが、光線療法の深部温熱・鎮痛作用により、早ければ数回の治療で、確実に痛みが和らぎます。少しでも痛みが軽くなれば、散歩に出かける気になり、自然と膝を保護する筋肉の強化につながります。また、光線療法は、関節内の滑膜代謝、軟骨代謝、骨髄内血行動態などに良い影響をおよぼすため、一時的な鎮痛効果だけでなく、病気の根本的な治療法と言えます。今日の高齢化社会では、変形性膝関節症で多くの方がお悩みのことと思いますが、病院では、鎮痛剤と湿布を処方され、年だからしょうがないと説明を受け終わりとするケースが圧倒的です。そんな時にこそ、是非、サナモア光線療法をお試し下さい。

サ/ナ/モ/ア/便/り

vol.6

宇都宮 正範

第四期 サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講

前号でお知らせした第四期サ
ナモア光線治療師養成講座を、
四月に東京にて開講しました。
今回の出席者は六名で、東北、
関西からの参加もあり、和気藹

第六回「光と熱研究会」の
お知らせ

講としての雰囲気の中で四日間
の講座を無事終えることができました。次回、秋の開講を予
定していますので、ご希望の方
は是非ご連絡下さい。

医療に関連した話題の講演や
治療例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のサナモアご愛用者の方も是非
ご参加下さい。なお参加は無料
です。

日時：七月十四日（土）

午後二時

場所：サナモア光線治療院
三階会議室

治/療/院/紹/介

このコーナーでは、新規に光
線治療院を開業された先生方
や、既に開業されてご活躍中の
先生方を紹介させて頂いており
ます。

サナモア光線治療所

(写真上)

電話：〇四八七三七三―四八四三
〇九〇―九三六一―三六七六

東京光線治療院

(写真下)

電話：〇四四―七三二―五〇六七

住所：川崎市中原区丸子通り二―
七〇九

院長：海渡一二三先生

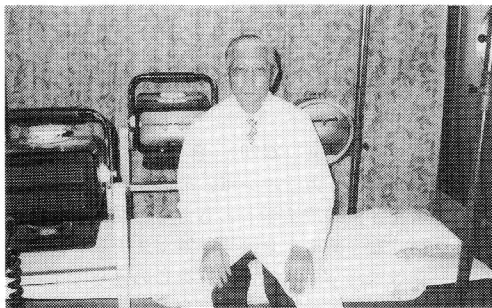
一言：先代の宇都宮義真先生に長
年サナモア光線療法の御指
導を賜り、今日に至るまで、
東京光線治療院の看板を掲

住所：埼玉県桶川市神明二―十八―十
交通：JR高崎線北上尾駅から徒
歩五分

院長：東原なつ子先生
一言：近隣のお宅には、出張治療
も行っています。



東原なつ子先生（右）



海渡一二三先生

げ営業致しております。ま
た、幸いなことに、現在は、
宇都宮光明先生と宇都宮正
範先生に力強い御教示を頂

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

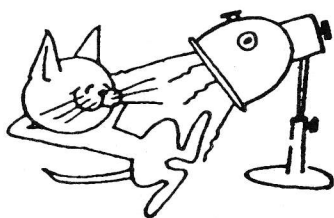
TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験し
ないと信じられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものはありません。
ついては体験記をお送りく
ださいますよう、お願いい
たします。

き、サナモア光線療法と方
ウンセリングにより患者の
治療にあたる一方、サナモ
ア光線治療器の販売を行っ
ています。
これからもサナモア光線療
法で、多くの方の健康を守
ります。



治 験 例 報 告

☆変形性膝関節症

症例 62歳 女性 主婦

症状 二年前頃より膝の調子が悪く階段の昇り降りがつらくなっていたが、最近、徐々に膝関節痛も認めるようになったため、整形外科を受診したところ、変形性膝関節症と診断された。内服治療を開始したが痛みは改善せず、膝の屈曲も困難となり正座もできなくなった上に、消炎鎮痛剤による胃腸障害も出現したため、サナモア愛用者である姉に勧められ来所した。

療法経過 治療はBCカーボンで両膝を20分、膝裏を10分、B

Bカーボンで大腿部前面を20分、その後面を10分照射し、A Bカーボンで腹、腰、足裏をそれぞれ10分照射した。翌日からは在宅光線治療を開始。毎日二回、膝には、A BカーボンとBCカーボンを交互に使用するよう指示した。数日後に陽性反応のため、一時的に痛みが強くなることもあったが、二週間後には、階段の昇り降りが楽になり、一か月続けた頃には大腿部の筋肉に柔軟性を認め、正座しても以前のような痛みを感じなくなった。

この頃には胃腸の症状も改善しており、例年と異なり、冬も膝の痛みを全く気にすることなく

愛用者だより

サナモアを生活習慣に

横浜市 大川 恵美子様

昨年十月に腰が急に痛くなった際、知人に良いものがあるからと勧められ、十二月より現在までお借りして、毎夜お風呂上

過ごせたと喜んでいました。

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八三三三三三三八

☆網膜剥離

症例 63歳 女性 主婦

症状 以前から糖尿病にて通院していたが、眼科にて網膜剥離を指摘され、光線療法で治療したいと来所された。なお、腰痛と足に陥入爪を認めたため、同時に治療を行った。

療法経過 平成12年6月、三灯または四灯照射法にて治療を開始。カーボンはBDカーボンを使用し、改善後にABカーボンを用い

がりに腰と足に当てていました。が、自分の治療器が欲しくなり購入致しました。自分のだと気兼ねなく使えるので購入して良かったと思います。現在68才ですが、まだ現役で事務の仕事が続けて30年になります。やはり毎日椅子に腰掛けて仕事をしていた関係で、悪くなったような

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たせませんので呉々もご注意ください。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

た。最初は側臥位にて、顔面に閉眼で30分、腰から臀部に30分、足の爪に30分を同時に照射。次に後頭部と腹と膝裏と足裏に同時に10分照射した。体位を仰臥位に変更後、右顔面に10分、左頸部に10

分、右股関節部に10分、左膝側面に10分同時に照射。その後、左顔面に10分、右頸部に10分、左股関節部に10分、右膝側面に10分同時に照射した。連日治療し、腰痛と爪の痛みは改善したが、視力がなかなか改善しないため、二か月後から、顔面の照射時間を30分延長し、顔面のみ60分の治療とした。平成13年1月から徐々に視力が回復し、2月中旬頃からは視界が明るくすっきりしてきたと話しており、病院の医師からも、目の状態は改善傾向にあると説明を受けている。

川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告
TEL 〇四四七二二五〇六七

開院から半年を振り返り

はじめに
太陽の恵み

したサナモア
光線療法を、

くの方に体
験して頂き、

光線療法の

存在を認知

してもらい

たいという

思
い
か
ら
開

院した治療

院も、昨年

秋に開院以

来、半年が

過ぎました。

この間、光

線療法を既

にご存知の

方や新規に

光線療法を

始めたいと

二、三の

方が来院さ

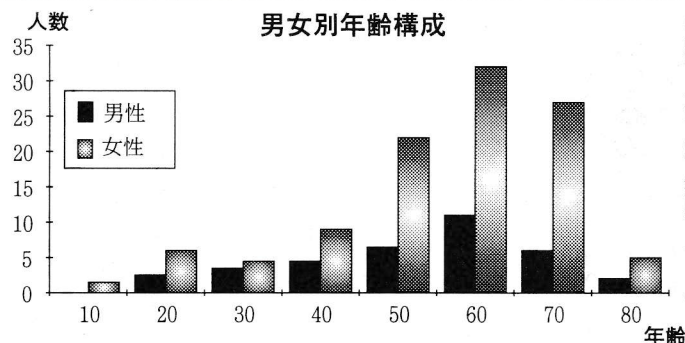
れましたが、

満足頂けたこ

坐骨神

サナモア光線治療院院長
医学博士

宇都宮 正範



け、痛みに対して神経ブロックを受けていた患者さんが、嘘のように痛みがとれて元気になる例や、肝臓の手術を受けることが決まり、体力の増強のため、手術直前まで続けた患者さんが、執刀医も驚くくらいの回復の早さをみせて無事退院できた例を間近に見るにつけ、サナモア光線療法の効果と適応範囲の広さを改めて実感しました。

受診時の診断

	人数	診 断 の 内 容 ()内は人数
整形外科系	61	腰痛症(19) 変形性膝関節症(10) 頸椎症(8) 慢性関節リウマチ(5) 骨折(4) 脊柱管狭窄 症(4) 変形性股関節症(3) 五十肩(2) その 他(6)
内科系	47	糖尿病(8) 高血圧(5) 脳血管障害(4) 悪性 腫瘍(4) 肝障害(3) 胃腸障害(2) てんかん (1) 過敏性大腸症候群(1) 気管支喘息(1) 脊髄小脳変性症(1) その他(17)
皮膚科系	9	アトピー性皮膚炎(2) 白癬(2) 帯状疱疹(1) 乾癬(1) 円形脱毛症(1) その他(2)
耳鼻科系	8	アレルギー性鼻炎(1) 突発性難聴(1) 耳管 機能障害(1) 副鼻腔炎(1) その他(4)
泌尿器科系	3	慢性前立腺炎(1) 前立腺肥大症(1) 前立腺 癌(1)
婦人科系	2	子宮内膜症(1) 子宮脱(1)
眼科系	2	網膜剥離(1) 緑内障(1)
健康法	5	

患者背景と受診理由

そこで、開院から今日までを振り返り、来院された患者さんの背景および診断を簡単にまとめたいと思います。

七か月間に受診された初診患者は合計137名で、このうち男性が33名、女性が104名と圧倒的に女性が多く、年齢構成は、男女ともに、60歳代をピークとした

山型を呈していますが(図)、若年層までを含めた幅広い年齢の患者が、来院していることが分かります。サナモア光線療法は、高齢者のみを対象とした治療法でないことが理解できます。

また、表に示したように、最も多い疾患は整形外科系疾患で、腰痛、膝関節痛、リウマチなど、痛みに対する治療目的の患者が多く、病院で満足のいく治療を

受けられてない方が来院されます。既に体験された方はお分かりますと思いますが、サナモア光線療法は、優れた鎮痛効果を有しており、副作用もなく、速やかに痛みを緩和することが可能です。また、次に多い内科系疾患では、糖尿病、高血圧、脳梗塞後遺症などの生活習慣病が目立ちます。生活習慣病は今後もさらに増加することが予想されますが、光線療法は病気の進展や合併症の発症を未然に防ぐ効果があるため、在宅での光線療法と併用している方も多く、週に一度、当院での全身治療に通われています。さらに、アトピー性皮膚炎、乾癬など皮膚科系疾患が続く、耳鼻科系疾患や婦人科系疾患に至るまで、あらゆる病気がサナモア光線療法の治療対象となります。

このように、様々な病氣の方が来院されることが、サナモア光線治療院の一つの特徴と言えますし、サナモア光線療法は病氣を選ばないと言われる所以なのです。

サナモア光線治療院のご案内

サナモア光線協会は、サナモア光線療法の普及事業の一環として、昨年の九月にサナモア光線治療院(院長・宇都宮正範)を開院しましたが、今般、「健康と光線」を送付するに当たり、サナモア光線治療院のパンフレットを同封いたしました。

サナモア光線協会は、太陽の光エネルギーがあればこそ生命にとって不可欠な食べ物と酸素があり、私たち人類も健康でいられる、この考えを原点に、この考えに基づいて、太陽光線に近似した光線を再現するサナモア光線療法の普及に努めて参りました。しかし太陽の恵みを医療に生かすサナモア光線療法の効果は、実際に使ってみて分かる点が多々あります。

鎮痛効果一つをとっても、使ったことのない人は中々信じません。しかし使いこなせば、これほど簡便で効果のある治療法はありません。日常経験するさまざまな病気は、気持ち良く光線を当てているだけで自然治癒力が増し治ってしまいます。

ところでサナモア光線治療院では、ルーフ式マルチアーク療法による治療を中心に行っています。この治療法の特徴はパンフレットに記載しましたが、四

台から五台の治療器を用いて密閉された空間内で多灯照射し、光線の光化学作用と深達性の温熱作用の相乗効果を利用するものです。一般にご家庭でお使いいただいている光線療法とは異なる点がありますので、医療相談かたがた体験されることをお勧めします。

(お近くにルーフ式マルチアーク療法を行っている治療院がある場合にはご紹介しますのでお問い合わせ下さい。)

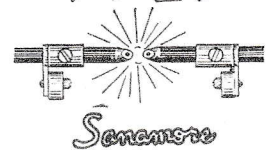
はつらつさんには ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてききました。この点を改良したのが全

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行。
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三—五二八—
三七二—五三三—

(本紙の無断転用を禁止します。)